

今日のトピック 好調続くASEAN 4のGDP (2017年1-3月期)

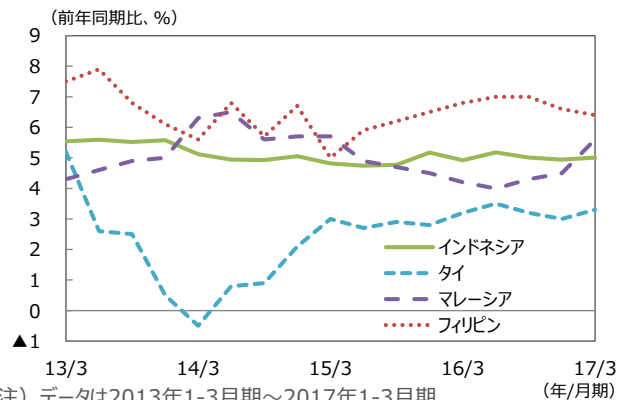
世界や域内経済の拡大を背景に堅調を維持する見込み

東南アジア諸国連合 (ASEAN) の主要4カ国 (インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン) の経済が好調です。消費の持ち直しや輸出の伸びを背景に、1-3月期実質GDPは、フィリピンを除き前期から加速しました。

ポイント1 マレーシア、タイが好調 市場予想を上回る

- マレーシア：1-3月期実質GDPは前年同期比 + 5.6%と、市場予想 (ブルームバーグ、同 + 4.8%) を上回り、前期 (同 + 4.5%) から加速しました。民間消費や民間投資が成長率を押し上げました。
- タイ：1-3月期実質GDPは同 + 3.3%と、市場予想 (同 + 3.1%) を上回り、前期 (同 + 3.0%) から加速しました。民間消費が持ち直したことが主因です。

【ASEAN4の実質GDP成長率】



(注) データは2013年1-3月期～2017年1-3月期。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 インドネシアは小幅加速 フィリピンは高成長ながら減速

- インドネシア：1-3月期実質GDPは同 + 5.0%と、前期 (同 + 4.9%) から伸び率が拡大しました。輸出が伸びたことが背景です。
- フィリピン：1-3月期実質GDPは同 + 6.4%と、前期 (同 + 6.6%) から伸び率が縮小しました。16年の大統領選挙に絡み景気が押し上げられた前年の反動が出たものと見られます。減速はしたものの、高成長が続いています。

【IMFの経済成長率見通し】

	2016年 (実績)	2017年 (予想)	2018年 (予想)
アジア太平洋	5.3	5.5	5.4
インドネシア	5.0	5.1	5.3
タイ	3.2	3.0	3.3
マレーシア	4.2	4.5	4.7
フィリピン	6.8	6.8	6.9

(注) データは2017年5月時点。
(出所) IMFのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 世界や域内の景気拡大を背景に、堅調を維持する見込み

- 国際通貨基金 (IMF) は、5月9日にアジア太平洋地域経済見通しを発表しました。それによると、同地域の17年の成長率は + 5.5%と、16年 (+ 5.3%) から加速する予測となっています。ASEAN4の経済も、世界経済やアジア域内経済の拡大を背景に、堅調を維持する見通しです。中長期的に世界経済の牽引役として存在感の高まるアジアには、一段の投資資金の流入が期待されます。

ここもチェック! 2017年5月22日 S&Pがインドネシアを投資適格級に格上げ
2017年5月17日 アジアの通貨動向 (2017年5月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。